



令和四年九月十日、石川県輪島市の大本山總持寺祖院で開催の「大本山總持寺開創七百年『延年之章』」に参加させていただきました。

禅の歴史や文化のさらなる魅力発信と地域交流の促進を図るため、大本山總持寺、大本山總持寺祖院をはじめ、石川県輪島市、横浜市鶴見区、学校法人総持学園鶴見大学等の相互協力のもと立ち上げられた「禅と海 里づくり・交流促進プロジェクト」に、全曹青も参画しています。昨年は、大本山總持寺開創七百年奉讃イベントとして「ZENSOUSEI ONLINE FESTA」を開催いたしました。続いて本年



三重県曹洞宗青年会 和太鼓集団「鼓司」による奉納演奏

開催の「延年之章」では、山門プロジェクトクションマッピング「ぜんのきらめき」に参加させていただきました。

「ぜんのきらめき」では、三重県曹洞宗青年会有志による和太鼓集団「鼓司」の奉納演奏が行われました。開創七百年を迎えた大本山總持寺の過去から未来を表現する光の芸術に合わせ、中秋の月夜の下に、青年僧侶が打つ迫力の太鼓演奏が響きました。

公演では感染対策として、観覧人数を分散させながら三回の公演が行われました。人数制限がある中でしたが、能登半島地震から復

大本山總持寺開創七百年『延年之章』参加報告

広報委員 萩野 昌吾はぎの しょうご



全曹青頒布ブースの様子

興を果たした祖院に多くの人が来場され、山門に映し出される光と音の共演に酔いしれました。また公演に合わせて、門前もとても多くの人で賑わいました。

平成十九年に発災した能登半島地震で、甚大な被害を受けた祖院と輪島市が復興へと向かい、これからも共に歩んでゆく。そんな前向きな思いが伝わってくるような賑わいでした。

公演当日の昼過ぎには、門前の広場で全曹青の頒布物を取り揃えたブースを開きました。写経用品や先月号で紹介した『ナムナムぬりえ』、『精進料理本』『ここから始める 精進料理教室』等を展開いたしました。また開創七百年記念として、昨年製作した全曹青オリジナル和菓子『Paradigm Shift』を祖院の御征忌会に奉

納し、同じく記念として製作した特別御朱印「瑞夢^{ずいむ}」も当日頒布ブースで取り扱いました。頒布物を

実際に企画した会員もブースに立ち、来山された方にさまざまな頒布物の使い方や良さを直接紹介する場面や、意見や感想等お話を伺う場面もありました。コロナ禍で頒布ブースを展開する機会も減っていたため、対面での交流から、人と人とのつながりの大切さを改めて実感する機会となりました。



● 執筆者プロフィール

広報委員 萩野昌吾

京都曹洞宗青年会所属



当日の「鼓司」奉納演奏を『全曹青公式YouTubeチャンネル』でご覧いただけます。